過酸化ラジカル

過酸化ラジカル かさんからじかる

　ラジカル（対にならない電子を有する物質、すなわち遊離基）でＲＯＯ−の形をしたものを過酸化ラジカルという。電離したイオンや電子、あるいは励起分子などは分子内や分子間でエネルギーのやりとりを行い、分子は水素また陽子を放出して、電子とともにラジカル（遊離基）を形成する。このような化学反応をラジカル反応という。多くの有機物質［ＲＨ］の溶液中の反応は酸化反応でＲＨ　＋　ＯＨ−　→　Ｒ−　＋　Ｈ２Ｏのように有機物質［ＲＨ］から水素が奪われる。生成された有機遊離基Ｒ−は酸素があるとＲＯＯ−をつくる。Ｒ−　＋　Ｏ２→　ＲＯＯ−このようにして生成されたＲＯＯ−を過酸化ラジカルという。

＜登録年月＞
1998年02月